

# 甲州街道(お茶壺道中)ウオーク・第11回

- ・開催日 2015年4月15日(水)
- ・コース 上野原駅～疱瘡神社(塚場の一里塚)～諏訪番所～名倉入口交差点～三柱神社(追手風喜太郎)～増珠寺～関野宿本陣跡～藤野駅(トイレ)～小猿橋跡～吉野宿本陣跡(藤野町郷土資料館：昼飯トイレ)～与瀬神社～与瀬宿本陣跡～相模湖駅
- ・距離 約1.3km
- ・集合 上野原駅 9時30分
- ・解散 相模湖駅 14時30分頃
- ・担当 和田 宏 田中憲一

## 船守神社

境内には(船守弥三郎の碑)がある川奈から分骨して祀ったものです。弥三郎はこの地の出身ですがわけて伊豆で漁師をしていました。日蓮が鎌倉幕府から法難を受けた折に色々と面倒をみて日蓮を救い助けたことでその時上原上野介の名を目蓮から賜ったので、それが現在上野原の名の由来となっています。

## 疱瘡神社

疱瘡は熱病の代表格だから赤で表現し、また赤色は悪神を調伏できるとしてお堂や鳥居を赤くするそうです。発病は悪神によるものと恐れられて軽く済むようにと祈ったそうです。一説によくと鎮西八郎為朝の霊が暴れるのだと信じられたようです。社殿に納めることで病気の鎮静を祈ったと言われています。

## 追手風喜太郎

この関野で生まれ幼名を(松次郎)という、9才の時叔父の追手風小太郎が巡業の時松次郎の家に立ち寄ったことから親の反対を押し切り小太郎を追って弟子入りをした。天保7年(1837)西大関となりました、その後年寄りとなり相撲会所の要職につき門下から多くの力士を出しましたその中には横綱になった雲竜久吉もいます。喜太郎は敬神祖先を敬う心が厚く、三柱神社には四神の幡(青龍、白虎、朱雀、玄武)を献納し、増珠寺には五具足、燭台など寄進して地元を愛しました。寺には追手風喜太郎と雲竜久吉の碑があります。



## 与瀬神社

与瀬神社は通称権現山と呼ばれる山の南麓にあり幼児の虫封じの霊験あらたかの神として有名です。御神体は蔵王権現で御祭神は日本武尊です宿場に疫病が流行した時人々を守ってくれたといわれています。甲州街道の旅人は必ず参拝したそうです。

## 諏訪番所跡

武田信玄の時代に北条氏に備えて作られた。その後徳川が引き継いだものです。その後徳川が引き継いだものを境川番所と呼ばれた時もあったようです。宝永4年(1707)に諏訪神社の東よりこの場所に移転しました。番所は定員9人獄舎取締1人で男は手形不要で女は江戸方面に行く時は手形が必要でした。番所は明治2年制度閉止明治4年番所廃止になりました。

## 吉野宿本陣跡

建物は五層の物見櫓の付いた造りでしたが明治29年の大火で焼失してしまいました。吉野家の由緒は古く弘安年間(178-88)の承久の乱で一族が天皇に従い宇治勢田で北条義時との戦いで破れ故郷を去りこの地に住み着いたという。江戸時代には名主と問屋場の業務を行っていました。明治13年の明治天皇の行幸のさいにはご昼食をされた行在所です。